

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 16 日作成)

小委員会名	都市・地域エネルギーシステム小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)	
設置期間	2011 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市、地域におけるエネルギーシステムの先駆的事例の分類、整理 (目的) ・エネルギーシステムの在り方に関する基礎的議論 ・国内外の先駆的事例の抽出と技術的、経済的、社会的指標の検討 ・システムの分類、整理と将来活用できる類型の作成 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：湯浅和博 (東京工業大学) 幹事：原 英嗣 (国土館大学)、小柳秀光 (大成建設) 委員：稲垣景子 (横浜国立大学)、佐土原聡 (横浜国立大学)、下田吉之 (大阪大学)、 須藤 諭 (東北文化学園大学)、鳴海大典 (横浜国立大学)、村上公哉 (芝浦工業大学)、 三浦秀一 (東北芸術工科大学)、横尾昇剛 (宇都宮大学)、吉田 聡 (横浜国立大学)、 吉田友紀子 (名古屋大学)、依田浩敏 (近畿大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2012 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	2 回の小委員会は先駆的事例の視察を兼ねて開催したが、事例の抽出としては不十分であり、今後は文献調査、アンケート調査等を実施する必要がある。なお、視察に基づいてエネルギーシステムの技術的、社会的指標の原案を作成したことは次年度のシステム分類に繋がる成果と言える。
委員会活動の問題点 ・課題	エネルギーシステムの現場を確認しながら活動を進めることが重要と考えられるが、全委員の日程調査や対象事例の視察許可を得ることが困難である。今後の文献調査、アンケート調査等は分業体制で実施したい。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2012 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	B
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2012 年度の第 1 回、第 2 回小委員会は、エネルギーシステムの先駆的事例の視察を兼ねて開催することができたが、事例の抽出としては不十分と言わざるを得ない。様々なエネルギーシステムの現場を確認しながら活動を進めることが重要と考えられるが、今後は、文献調査、アンケート調査の実施等を通じて事例の抽出数を増やしたい。その際には、地域ごとに委員が分担する等とし、小委員会の席上で調査結果を報告する形式で進める。 ・ 2011 年度、2012 年度の視察に基づき、エネルギーシステムの技術的、社会的指標の原案作成を行った。経済的指標については、情報入手も難しく、作成が困難である。 ・ 2012 年度の第 3 回は、委員の研究活動の報告を中心に、エネルギーシステムの在り方に関する基礎的議論を継続する予定である。(2013 年 3 月開催予定) ・ 上記 3 点の達成度、小委員会開催回数が活動計画 4 回から 1 回減ったこと等を考慮して、総合評価を B とした。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。